



ストーブリの
サステナビリティ

インフォメー
ションノート
2023年5月

CEOからのメッセージ



ステークホルダーの皆様へ

1892年以来、サステナビリティはスコープの歴史とDNAの一部です。130年以上にわたって、産業と社会の持続可能な発展のために、品質の高い製品とサービスを提供してまいりました。スコープの信頼性と安定性は、途絶えることなく継続してきたファミリー経営に基づくものであり、卓越した技術力は、産業界のお客様に向き合い続けてきた賜物です。これらはすべて、「より安全かつ効率的で、費用対効果の高い工業生産工程用ソリューションを開発する」という包括的な目標の一部なのです。

サステナビリティは、私たちのDNAの一部であるだけでなく、私たちのビジョンとバリューの一部でもあります。「作業をシンプルかつ安全にする」という当社のビジョンは、私たちを進むべき方向に導くものです。私たちの産業用メカトロニクス・ソリューションは、比類なき性能を実現し、お客様、組織、社会、環境に役立つ価値を生み出します。また、4つのバリュー (People、Passion、Performance、Partnership) が私たちの行動の原動力となり、企業文化を定義します：当社従業員やチーム (People) が前進と成功を実現し、情熱 (Passion) とそれに対する責任があらゆる行動の原動力となり、行動 (Performance) がお客様に満足をお届けし、そして、皆様とのパートナーシップ (Partnership)、関係性は長期志向と誠実さの上に築かれています。

これらの共通の価値観に基づき、私たちはあらゆる行動において社会的、経済的、環境的責任を担い、ステークホルダーに価値を創造することに努めます。

2030年に向けてスコープが目指すのは、高品質の産業用メカトロニクス・ソリューションのマーケットリーダーおよびグローバルチャンピオンとしての地位を強固なものにすることです。将来に向けてのサステナビリティ戦略は、『Horizon Business Strategy 2030』をサポートするものです。私たちは、この戦略と全社の取り組みが長く継続し、環境と社会に具体的な利益をもたらすことを確信しています。

2022年は、地政学的な不確実性、原材料費の高騰に伴うサプライチェーン問題の増加、全般的なインフレなどで厳しい年でした。さらに、気候変動が世界に影響を与え続けています。3月20日、「気候変動に関する政府間パネル総合報告書」が発表されました。この報告書は、気候変動がすでに世界中の人間社会に広範な影響とそれに伴う損失や損害をもたらし、陸上、淡水、海洋の生態系に変化をもたらしていることを改めて示しています¹。私たちが今何を選択するかが、地球と未来の世代に決定的な影響を与えることになります。

私たちは、当社の製品とサービスが、より持続可能で強靱な未来に貢献すると信じています。私たちは、サステナビリティの分野で強力なプレーヤーとなることを目指します。本インフォメーションノート初版によって、私たちの立ち位置を明確にし、今後の進捗と実績を記録することを意図しています。

私たちのサステナビリティ・ジャーニーに、たゆまぬ情熱と貢献をを注いでくれるスコープの全従業員に心より感謝いたします。

スコープグループ最高経営責任者 (CEO)

ゲラルド・フォクトゥ

¹<https://www.ipcc.ch/report/ar6/syr/figures/summary-for-policymakers/figure-spm-1>

ストーブリグループについて

当社の事業と組織

ストーブリ・インターナショナルAG²は、産業用メカトロニクス・ソリューションのグローバル・プロバイダであり、電気コネクタ、流体用コネクタ、産業用ロボット、繊維機械の4事業を柱としています。1892年、チューリッヒのホルゲンで小さな工房として創業したストーブリは、スイスのフェフィコン³に本社を置くファミリー企業です。現在、世界29カ国⁴で事業を展開し、4大陸50カ国に代理店を持つ国際的なグループです。あらゆる業界のお客様をパートナーとして、従業員一同、お客様に長期的なサポートとともに包括的なソリューションを提供することにコミットしております。

2022年時点で、ストーブリの従業員数は約5,700人。そのうち、約2,000人のセールスおよびサービスエンジニアと、600人の研究開発員およびアプリケーションエンジニアが世界中のお客様にサービスを提供しております。またグローバル企業として、15の生産拠点で20もの産業分野向けの製品の製造を行っています。設立当初からイノベーションに情熱を注いできたストーブリでは、併せて2,200件もの特許を取得済み、または申請中です。また2022年には売上高14億スイスフランを達成いたしました。



2022年時点のストーブリグループ早分かり。

²GRI Section 2-1

³GRI Section 2-1

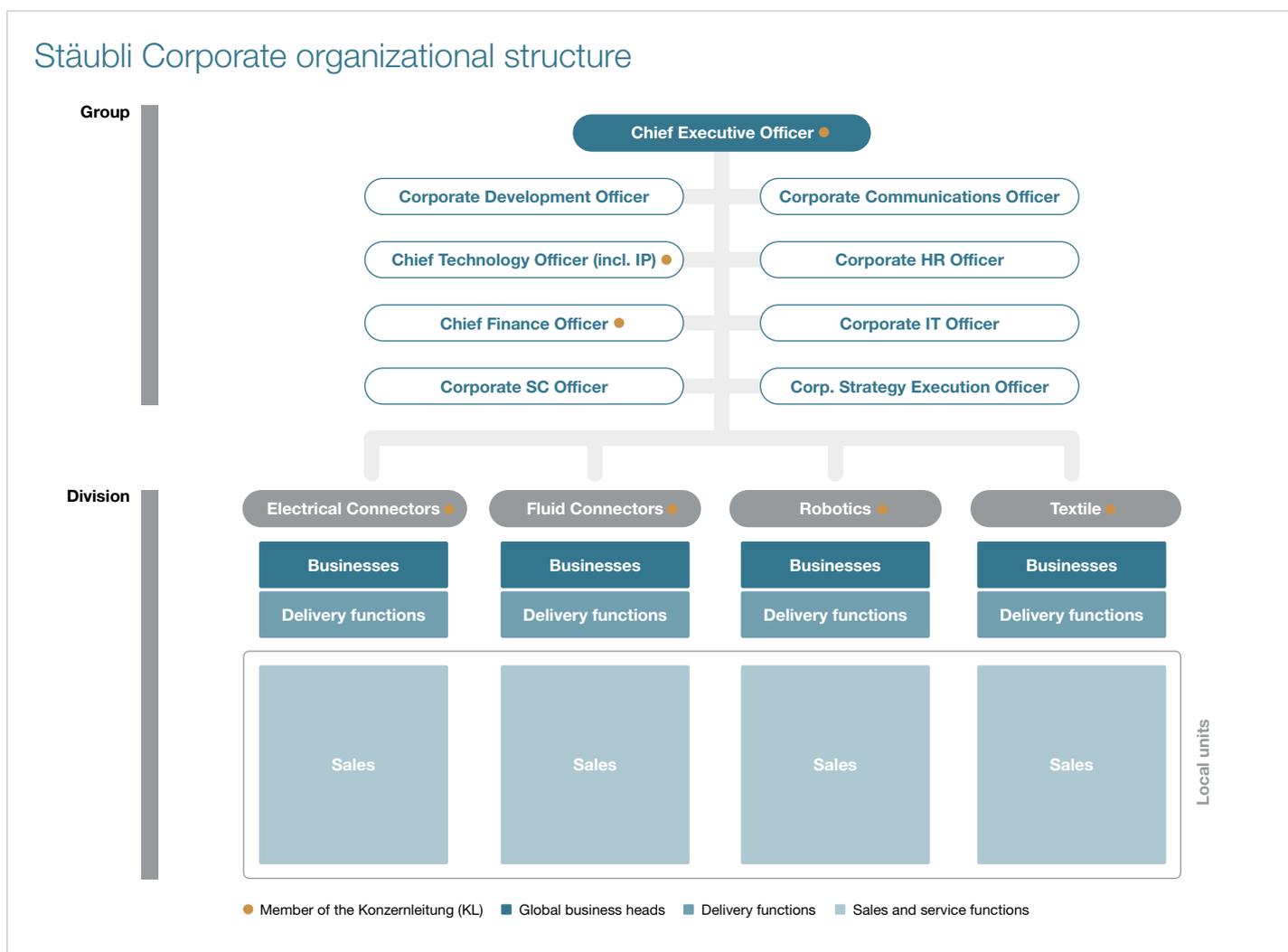
⁴GRI Section 2-1

当社は、電気コネクタ、流体コネクタ、産業用ロボット、繊維機械の4事業部から成ります。

当社の電気及び流体コネクタとロボットは、再生可能エネルギー、自動車、医療、鉄道、航空宇宙、食品、石油・ガス、プラスチック、E-モビリティ、電力、エネルギーなど、あらゆる産業分野で使用されています。繊維機械事業部では、織布準備から、枠開口製織、ジャカード織、カーペット、テクニカルファブリック製織まで、織物生産のあらゆる工程にソリューションを提供しています。

ストーブリの戦略

2020年に、2030年までの経営計画であるホライズン戦略を導入しました。このホライズン計画に基づき、グループ規模を現在の2倍に成長させ、売上30億スイスフラン、従業員9,000名とすることを目指しています。また縦割り事業部制がこの経営計画の要となっています。この縦割り⁵により、コーポレートとしての機能も強化しつつ、事業ベースのアプローチを実施し、各事業部やそれぞれの事業を強化することを目的としています。サステナビリティは、コーポレート戦略実行部門が取り組む、コーポレート機能です。



組織図 (簡略版)。

⁵ ストーブリアは、お客様とのパートナーシップをより強化するため、製品の開発、製造、マーケティング、販売それぞれに特化して戦略を新たにしました。

ストーブリのサステナビリティ

重要課題の分析、初期戦略と次のステップ

2021年に初めて重要課題分析を行いました。グループの中でも規模の大きなユニットと事前分析を行い、2022年にサステナビリティ戦略の策定を開始しました。次のステップとして、社内外のステークホルダーと重要課題の評価を詳細に実施し、我々の活動における重要課題を特定しようとしています。

私たちは、高品質の産業用およびメカトロニクス・ソリューションを提供するファミリー企業サプライヤーとして、環境と社会に具体的な利益をもたらす長期的なビジョンに焦点をあてています。

これまでのところ、私たちはサステナビリティ戦略の柱として次の3点を掲げました：お客様にとっての価値（製品の持続可能な性能と我々がお客様の近くに存在すること⁶）、従業員にとっての価値（従業員の成長、健康と安全）、地球の保護（環境の保全による）。今後の重要課題評価の結果によっては、サステナビリティ戦略とその柱とする点に変更や調整を加えることもあり得ます。

私たちは現在、行動、リソース、スケジュールを決定するためのサステナビリティ・ロードマップを策定中です。主要な生産部門の二酸化炭素排出(CFP)を特定し、重要課題評価を実施することは、私たちの優先事項のひとつです。ほとんどの当社製品は、製品寿命が長く、リサイクル性や省エネルギー性にも優れています。品質基準の高さと製品寿命の長さは代々、ストーブリ製品の特長といえます。これは、持続可能な資源保護への貢献といえます。私たちは、既存の規範や認証に基づき、製品の性能を文書化していく所存です。

この導入版としてのインフォメーションノートは、Global Reporting Initiative (サステナビリティ報告の国際基準を提供する国際的非営利団体)の基準を参考に、当社の取り組みの現状と次なるステップの概要情報を提供するために策定いたしました。今後数年の我々の最終目標は、スイスを本拠地とする当グループに適用される主な法規制に準拠しながら、「Corporate Sustainability Reporting Directive(企業の持続可能性報告指令)」に従って包括的な報告書を作成することです。



私たちの優先事項のひとつは、当社生産部門の二酸化炭素排出を明らかにすることです。

ガバナンス

2022年、スコープリはサステナビリティ・ステアリング・コミッティ(SSC)⁷を設立しました。SSCは2022年に2回開催されました。

SSCは、最高経営責任者、コーポレート人事責任者、コーポレートコミュニケーション責任者、再生可能エネルギー担当副社長で構成されています。

SSCの目的は、サステナビリティ戦略の展開、実施、進捗管理をすることです。SSCは取締役会に報告を上げます⁸。

取締役会は、サステナビリティ戦略と持続可能な開発に関する年次目標を含むグループ戦略を承認します⁹。

2022年にコーポレート・サステナビリティ・マネージャーが採用され、SSCと連携してサステナビリティの全体的な戦略的方向性を示しました。コーポレート・サステナビリティ・マネージャーは、SSCとコーポレート戦略実行責任者に報告し、その後、後者が最高経営責任者に直接報告をします¹⁰。環境、社会、ガバナンスのベストプラクティスが、グループの新戦略にも組み込まれています。

サステナビリティ・ワーキンググループは、四半期ごとに会合を開き、サステナビリティの課題への貢献について議論するとともに、部門横断的・機能横断的な目標の達成をサポートしています。現在、サステナビリティ・ワーキンググループは、部門ごとの環境、社会、ガバナンスの担当者と生産部門の代表者で構成されています。サステナビリティ・ワーキンググループで議論された最初のタスクは、当社の主要生産部門の二酸化炭素排出についてでした。

当社のサステナビリティに関する組織・体制はこの後さらに整備いたします。

⁷ GRI Section 2-9

⁸ GRI Section 2-11: 取締役会会長は、本組織の上級幹部ではありません。

⁹ GRI Section 2-12

¹⁰ GRI Section 2-13

事業の中でのサステナビリティ

4事業部におけるサステナビリティ



耐久性と安全性に優れたコネクタで、エネルギー生産の脱炭素化をサポートします。

電気コネクタ事業部は、より持続可能な未来に向け、エネルギー転換とデジタル化を大きなチャンスと捉えています。信頼性と安全性の高い電気コネクタ・ソリューションにより、世界の発電・送電の脱炭素化、資源効率の高い産業オートメーション、カーボンニュートラルな輸送を実現します。私たちは、事業活動をスマートに推進すること、つまり持続可能な方法で追求することが不可欠であると考えています。そのため、私たちは、あらゆる努力、革新、投資によって、世代を超えて、より持続可能な生活を実現するために努力しています。



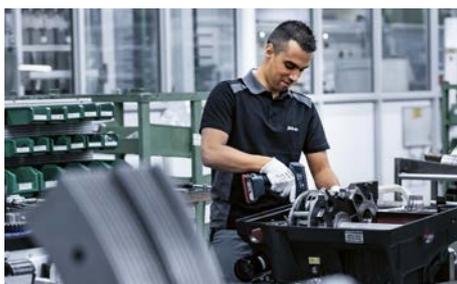
信頼性の高い車載ブレーキシステムから、水素自動車の燃料充填の先駆的な進歩まで、私たちは持続可能な明日のためにお客様と共に歩んでいます。

流体コネクタ事業部は、産業界で他に類を見ないコネクタを用いたソリューションを提供しています。製品寿命の長い製品とお客様に近い距離からサービスを提供することにより、従業員の安全を確保し、エネルギー消費と二酸化炭素排出量を削減し、効率的な工場生産工程を開発します。鉄道のブレーキシステムに使用されるクイックリリース・カップリングは、数十年使用しても信頼性は衰えず、また、水素自動車の燃料充填の分野でも最近大きなイノベーションを起こしました。これらはいずれも、流体コネクタ事業部がより持続可能で強靱な未来に貢献することを表しています。



当社の自動化ソリューションは、スマートで持続可能な生産の未来を加速し、職場の健康と安全性を改善し、廃棄物削減を支援し、健全な地球環境を創ることに貢献します。

ロボット事業部は、さまざまな分野における安全な労働環境の提供に貢献しています。クリーンルームや無菌、衛生、高湿度環境など、より健全な労働環境が求められている、厳しい環境下の製造ラインの自動化に取り組みます。また、製品寿命の長いロボットやメンテナンス・ソリューションを通じて、廃棄物や消費エネルギーの削減に重点を置きながら、自動化による製造工程の再構築を支援しています。また、産業用ロボット部門では、複雑なマイクロサージャリー（手術顕微鏡による手術）をより正確に、安全に行うロボットによって、世界の健康増進に貢献しています。



繊維機械の製品寿命や修理対応の可能性、リサイクル性、エネルギー効率によって環境負荷を軽減すべく、絶えずイノベーションを起こしたいと考えています。

繊維機械事業部では、製品寿命の長い製品を提供し、保守サービスを提供することにより、お客様の保有機の稼働寿命を最大限に延ばすことに取り組んでいます。分解可能な設計や、スペアパーツ供給を確実にすることにより、修理やリサイクルが容易になります。お客様のほとんどが、当社マシンを何十年も使い続けられます。繊維業界ではストープリマシンの製品寿命の長さは認知されています。さらに、当社の研究開発チームは、新機種の電力消費量を削減するために大きな改善を行いました。



Windsor(アメリカ合衆国)のストーブリ社

太陽光発電システムで自社の二酸化炭素排出量を削減

Allschwil、Sargans (スイス)、Bayreuth (ドイツ)、Carate (イタリア)、Pardubice (チェコ共和国)、Windsor (アメリカ合衆国)、Pfäffikon (スイス)の本社など、世界中の多くの当社拠点が太陽光発電システムを導入しています。これらすべてのPVシステムには、当社オリジナルのストーブリ製MC4電気コネクタが装備されています。PVシステムを設置することにより、さらに環境に貢献し、各地で持続可能な電力を生成し、二酸化炭素排出量を削減することを目指します。



スイスで開催された「Basel Stadtlauf」イベント

世界各地でのストーブリの社会貢献活動

過去数年間、ストーブリは多くの社会的責任に関する取り組みに参加してきました。

スイス、Allschwil

当社の電気コネクタ研究開発チームは、病気の子供とその家族を支援する「Krebskranke Kinder Basel (バーゼル小児がんのこどもたち)」財団のための募金活動「Basler Stadtlauf」に参加しました。

フランス、Faverges

「ヨーロッパ障害者雇用週間」の機に、ストーブリ・ファヴェルジュは「DuoDay」に参加し、障害者の方々に当社の業務や施設について紹介を行いました。



Faverges (フランス)で開催された「DuoDay」

イギリス、Telford

ストーブリUKは、「Children in Need (恵まれない子供たち)」の日にチャリティーイベントを開催し、全国の子どもたちや若者を支援する寄付を集めました。



イギリスで開催されたチャリティーイベント

アメリカ、Windsorストーブリ・ウィンザーでは、20年以上にわたり、再生可能エネルギー用コネクタの提供や資金提供などを通じて、発展途上国できれいな飲み水を提供するNGO「ウォーターミッション」を支援しています。

スイス、Pfäffikon

2023年2月にトルコとシリアで発生した地震による被害状況を鑑み、ストーブリグループ本社（フェフィコン）は、被災者支援のため、スイス・ソリダリティに多額の寄付を行いました。



ウォーターミッション



● ストーブリ拠点 ○ 代理店

ストーブリグループの グローバル展開

www.staubli.com

住所 Stäubli International AG – Poststrasse 5, 8808 Pfäffikon/Switzerland

ウェブサイト www.staubli.com

電話 +41 55 416 00 40

Email corporate.communications@staubli.com

Stäubli はスイスおよびその他の国で登録されているストーブリ・インターナショナル AG の商標です。© Stäubli 2023

撮影 Stäubli, Shutterstock, Water Mission, Rosa Robot (Medtech)

STÄUBLI